

ご自由に  
お取りください



特集

## 若者の 市民公益活動の 視点

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

## インフォメーション information

### NPO法人

NPO法人の設立・運営に関する相談や、各種提出書類の相談窓口を開設しています。特に、法人の設立及び定款変更の認証申請書類の作成に関しては、留意していただく事項が多いため、申請書類の作成に関する質問、提出書類の確認をするなどの事前相談を実施しています。また法人の活動状況把握のための訪問や、要望に応じての出前相談会も行っています。



### 熊本市市民公益活動 支援基金 その他助成金

「熊本市市民公益活動支援基金」や、その他助成金に関する相談を受け付けています。「熊本市市民公益活動支援基金」から助成を受けるためには、あらかじめ基金団体登録をしていただく必要があります。申請書や報告書など書類の書き方の説明や、団体の運営相談などを受け付けています。また、その他助成金に関しては、ホームページでの情報掲載や、窓口での説明・紹介等を行っています。



### ボランティア

ボランティア活動を始めたい、ボランティアを募集したい等の様々な相談を受け付けています。また「よかよかボランティア」登録、団体でのボランティア登録を受け付けており、登録された方には定期的にボランティアに関する情報をお届けしております。ボランティア活動に興味のある方はぜひご来館ください。

### Let's go あいぽーと!

あいぽーとでのイベント情報をFM791のラジオで毎週月曜日朝8時40分より発信しています。「Let's go あいぽーと!」を聴いてあいぽーと情報をGETして遊びに来てください。

放送日 / 毎週月曜日 8:40~

※ 生放送のため、開始時間が前後する場合がございます。

### あいりぽーと

毎月、あいぽーとスタッフが、熊本市内で活動している団体を紹介し、FM791のラジオ番組「校区のチカラ」の中で取材報告をしています。

放送日 / 毎月第2金曜日 14:00~



### 動画de あいぽーと

NPO向け講座&あいぽーと活用法をYouTubeで公開しています。ボランティア情報を探するとき、書類の作成で悩んだときなど、ぜひ活用してください。今後もどんどんアップしていく予定なのでチャンネル登録もよろしくお願いします!

チャンネル登録はコチラ



詳細については、お気軽に下記までお問い合わせください。

〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルクまもと1階  
TEL:096-366-0168 FAX:096-366-8830  
Mail:airport\_kumamoto\_city@joy.ocn.ne.jp



ホームページは  
コチラから



退職後、ボランティアに参加して、多くの人達との出会いに刺激を受けています

吉永 誠子さん(79)

(取材当時)

# クローズアップ ヒューマン



——ボランティアを通しての自分の変化

ボランティアに参加するようになり、積極的に人と接することができるようになりました。以前は気持ちの中で初対面の人と会うと少し距離を置いている自分がありました。ボランティア活動をする際に「傾聴」が必要と思ひ傾聴のスキルを学びました。初めて老健施設で傾聴のボランティア活動をした時はとても緊張しました。入居者の人と一緒に歌を唄ったりしているうちに打ち解けてくれ、話をしてくれるようになりました。まわりの人たちが徐々に参加してくれるようになったことで、嬉しくなり次の自信へと繋がりました。年齢や職業、生き方や活動の仕方など様々な人たちとの出会いや、経験豊富な人の話は聞くだけで自分自身の学びとなり、知識も広がりました。行動も前向きになり、

——ボランティアを始めたきっかけ

病院在職中、院内でボランティア活動をしている人たちの担当になりました。毎日、多くの人がボランティアに参加していて、その活動内容は実に細かく、幅広いものでした。活動日誌を届けに行く度に話を伺いました。そして人のために一生懸命貢献されている姿に深く感動しました。ボランティアさんを通じて、ボランティア活動は素晴らしいと感じ、私も退職後はボランティア活動に参加してお世話になった職場に恩返ししようと思ったのがきっかけです。

——これからボランティアを始めようとする方へメッセージ

勇気をもって自分の出来ることを生かし、ボランティア活動に参加することをお勧めしたいと思います。何事も経験することにより自分自身の学びとなり糧となります。失敗してもそれを生かすことにより前に進めます。幅広い多くの人々との出会いや経験者の話は自分の知らない世界を知ることになり、人生を豊かにしてくれます。ボランティアは自分にとって生きがいや社会貢献のできる喜びにも繋がると思います。

——ボランティアをするモチベーション

私のボランティア活動の一つに「傾聴」活動があります。ボランティアを続けられるのは、傾聴ボランティアをした後に「話を聞いてもらってよかった」「話を聞いてもらってすっきりしたありがと」「また来てね、待っているよ」など笑顔と一緒にうれしいお声掛けをいただけるからで、この言葉に励まされて、スキルの向上や新しいボランティアへの参加など次の活動意欲にもつながりました。また同じ志を持って一緒に活動する仲間が存在や出会いはとても心強いです。

ボランティアをしてよかったと思います。

eyesは、ボランティアやNPO活動を「つなぎ・育て・見守る、視点（eyes）で制作しています。

## もくじ Contents

**特集 若者の市民公益活動の視点** …… P02-P05

実際に活動している事例を紹介（3事例） …… P03-P05

クローズアップヒューマン …… P01

令和5年度 こども・学生ボランティア助成事業実施… P06

熊本市市民公益活動基金寄附者紹介 …… P07

令和5年度 熊本市市民公益活動支援基金 助成決定団体一覧 … P08-P09

基金その後の話 …… P10-P11

あいぽーとボランティアレポート …… P12-P13

アクティブNPO …… P14-P15

Editors Note …… P16

あいず川柳 …… P17

### 表紙について

熊本市は、校区で子育てネットワークがあり、毎月親子向けのイベントを実施されています。夏休みを利用し高校生が親子と触れ合うイベントにボランティアとして参加しました。事前に読み聞かせや手遊びをレクチャーし、みんな笑顔の空間の一コマです。



事例1



団体名 田底を花いっぱいにし隊  
活動名 地域や通学路を花いっぱいにする  
活動者 小学生 8名



【活動をやると思ったきっかけ】

日頃、メンバーが通学している通学路や住んでいる地域を花いっぱいにし、学校に行くのが楽しくなるように、また地域の皆さんとのコミュニケーションを図りたいと考えました。

【活動内容】

通学路や地域の方が集まる施設に芝桜を250ポット、休日を利用して数回に分けて植えました。防草シートも利用しました。シートは、保護者や地域の大人の方の協力を得て貼りました。

【やって良かったと思う点】

花がキレイに咲くように、みんなで協力して水やりや植えた場所のゴミ拾いなどをしました。そうしていくうちに、自分の住んでいる田底が好きになり、学校に行くのが楽しみになりました。

【苦労した点】

色んな色の芝桜があるので、どのように植えると見た人がわくわくするか、植える位置などを計画するときが一番悩みました。

【今後の展望】

自分たちで花を植えたりゴミ拾いをする事で、自分の住んでいる地域がもっと好きになりました。これまで話す機会がなかった地域の大人の方とも話す機会ができました。今後どのようにしたら、もっと多くの方にこの素晴らしい田底を知ってもらえるか、みんなで考えていきたいと思います。



# 若者の 市民公益活動の視点

eyes

令和4年度から始まった「こども・学生ボランティア助成」。若者はあらゆる視点(eyes)で活動に関わろうとしています。勇気を出して初めてのボランティア活動に挑戦した若者の市民公益活動の視点(eyes)を紹介します。



田底を花いっぱいにし隊



## 福祉・ 子育て

真和中学・高等学校 ボランティア部

## 居場所・ コミュニティ



熊本学園大学  
Laugh Connect

市民公益活動をそれぞれの視点で考え、計画し実行するまでの過程も大切です。市民公益活動を難しく考えるのではなく、まずは関心を持ち、自分はどのようなことができるのかを考えることが「はじめの一步」につながります。活動後の達成感や充実感はもちろん、活動を通してさらに次のステップへ繋げてみませんか。



### 事例3



**団体名** 熊本学園大学 Laugh Connect  
**活動名** 季節のイベントを体感しよう!  
**活動者** 大学生 6名



#### 【活動をやろうと思ったきっかけ】

熊本地震で被災された方へ寄り添いたいと思い、自分たちで何ができるか出しました。被災された方が地震により移住を余儀なくされる環境の中でコミュニティの再構築は簡単なことではないため、地域の方々と第三の居場所づくり、または憩いの場づくり、また子どもたちや地域の方々との交流を深め、地域住民同士のつながりのお手伝いをしたいと計画を立てました。

#### 【活動内容】

季節を感じ取るイベントを益城町広崎第二団地で実施  
 ・10月「ハロウィンパーティー」・12月「クリスマスパーティー」

#### 【やって良かったと思う点】

イベントを実施することで、地域の方が参加しやすい環境をつくったので被災された方と地域の方との集いの場を作ることができ、コミュニティの強化もできたと思います。このイベントを通して、子どもたちが遊びやすいように集会所の周りの環境整備に協力して下さった方もいて、横のつながりのサポートもできたと思います。

#### 【苦労した点】

毎回の反省を通して、子ども達と何をしたらもっと楽しいと思ってもらえるかを考える事に苦労しました。自分達の「楽しい」と子供達の「楽しい」は違い、また世代間ギャップがありました。また、地域の方とコミュニケーションを取ることも難しかったです。

#### 【今後の展望】

今度は多世代交流を視野に入れた活動を行いたいです。あまり外出できない方の所に訪問する機会を作り、さらにコミュニティの輪を広げられるお手伝いができるようにしたいです。

### 事例2



**団体名** 真和中学・高等学校ボランティア部 (当時同好会)有志  
**活動名** 点字に親しもう  
**活動者** 高校生 7名



#### 【活動をやろうと思ったきっかけ】

部の中でボランティアにただ参加するのではなく、自主的にどんな活動をするのか考え実施することが大事だと話し合いました。課題を出し合った中で、特に「バリアフリー」への関心が高いメンバーが多く、点字絵本の制作をすることにしました。

#### 【活動内容】

- ・熊本県点字図書館の見学及び点字講習会の実施(点字について正しく知り、点字の方法について学ぶ講習会)
- ・点字絵本の制作(絵本を選定し7冊を制作)
- ・点字絵本の展示コーナー開設(校内に「点字に親しもう」展示コーナーを開設。点字絵本や小型点字器を設置)

#### 【やって良かったと思う点】

視覚障がいを持っている親子が読み聞かせをしたり、視覚障がいを持っている子どもにも絵本を楽しんでもらえる機会づくりができてよかった。また私たちが点字絵本制作を通して視覚障がいやバリアフリーについて考え、正しく理解することができました。完成した点字絵本のうち2冊を、お礼を兼ねて点字図書館に寄贈させていただきました。

#### 【苦労した点】

どのような絵本が好まれるのか選定に苦労しました。また点字器を扱うのが初めてで、文字を打ち間違えてはやり直すの繰り返しでしたが、出来上がった時は嬉しかったです。

#### 【今後の展望】

制作した絵本の活用範囲を増やしていきたいです。また、学校で点字体験などを実施して、多くの方の理解、啓発にも取り組みたいです。

# 熊本市市民公益活動支援基金

「熊本市市民公益活動支援基金」へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからのご寄附は、令和5年7月10日現在、41,741,836円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、令和5年1月11日から令和5年7月10日の間にご寄附をいただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご芳名を掲載させていただきます。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

- ★ 株式会社熊本市リサイクル事業センター 様 ..... 1,822円
- 《ご要望によりお名前のみ公開希望の方》
- ★ NPO法人 スポレク・エイト 様
  - ★ 株式会社 オークス熊本 様
  - ★ 株式会社 お菓子の香梅 様
  - ★ 株式会社 熊本シティアフエム 様
  - ★ 株式会社 パスト24 様
  - ★ 熊本新明産業 株式会社 様
  - ★ 有限会社 石翔 様
  - ★ 有限会社 オー・エス収集センター 様
- ★※掲載を希望されなかった方109名様

## 寄附をお考えの方

「熊本市市民公益活動支援基金」への寄附は、地域活動推進課窓口へ直接寄附金をお持ちいただく方法と、事前に必要事項を記入した「寄附申出書」を地域活動推進課へ送っていただき、その後返送された「納付書」をもって金融機関にて寄附金をご入金いただく方法があります。他にも熊本市役所庁舎1階に募金箱を設置しております。寄附額に制限はありませんが、2,000円を超える部分について、税制上の優遇措置を受けることができます。NPOやボランティア団体等の市民公益活動を寄附というカタチで応援(社会貢献)することができます!

その応援(社会貢献)の方法のひとつとして『寄附金付自動販売機』があります!

### 【寄附金付自動販売機とは?】

各事業所や店舗で新規に設置、または既存の自動販売機を『寄附金付自動販売機』として設置し、売上の一部を寄附することができる制度です。市と協定を結んだ飲料水メーカー(提供事業者)が、代行して寄附を納入します。

### 【寄附金付自動販売機のメリット】

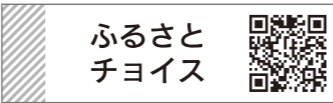


- 何年にもわたって設置することができるので、無理なく息の長い社会貢献ができる。
- 自由に寄附額を設定でき、少額から始めることができる。

**「熊本市市民公益活動支援基金」への寄附が  
ふるさと納税サイトで申し込みできます!**

熊本市では、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ふるなび」での寄附受付を行っています。ふるさと納税の一種である「熊本市市民公益活動支援基金」への寄附も申し込みが可能です。

クレジット決済やマルチペイメントなど、決済方法を選択でき、申し込みから支払いまでの手続きをいつでも簡単に行うことができます。熊本市内にお住いの方は、「城主証」以外の感謝の品はお受け取りいただけません。

熊本市では、一定額(10,000円)以上の寄附をいただいた方に対して、寄附金額に応じて「感謝の品」を進呈しています。「熊本市市民公益活動支援基金」での寄附も、ふるさと納税として申し込みが可能です。

■ お問い合わせ ■ **熊本市市民活動支援センター・あいぽーと TEL:096-366-0168**  
(ウエルバルくまもと1階)  
助成や寄附に関するお問い合わせは、お気軽に「あいぽーと」までご連絡ください。



## 熊本市市民公益活動支援基金特別助成

# 令和5年度「こども・学生ボランティア助成事業」 が実施されています!

こども・学生ボランティア助成は、熊本市市民公益活動支援基金の設置10周年をきっかけとして、熊本市の若い世代のボランティア等への関心の高まりを背景に、若い世代の考える「市民公益活動」の実践の機会を設けることで、活動を実践する若い世代及びそれを支える周囲の人々の市民公益活動への関心を高め、今後の市民公益活動への関心・参加意欲の向上に寄与することを目的に実施します。

団体名	事業名・活動内容	日時/場所
城北小学校PTA・こども評議員	「こども評議員3本の矢(自分たちで・たのしいことを・みんなでいっしょに)プロジェクト」大人と一緒に子ども中心の地域づくり。	9~11月 城北小学校及び校区内各所
ハッピースマイルくまもと	「難病で入院している子どもの「こころ」にエールを届けます!」難病の子どもたちにミサンガやビーズ・絵・色紙等を作ってプレゼント。	8~11月:作成(パレア) 12月:こども医療センター
尾ノ上こどもボランティア	「できるときにできたしこボランティア」チャレンジグループとサタデーグループに分かれて掃除やごみ拾いなどのボランティア活動を行う。	9~11月 尾ノ上校区、尾ノ上公民館等
田底を花いっぱいにし隊	「田底を花いっぱいにし隊」地域の美化作業:田底地域コミセン駐車場に芝桜などの花を植える。(地域の環境美化)	9~11月 田底地域コミュニティセンター駐車場
真和中学・高等学校ボランティア部有志	「子どもたちとあそび隊」保育園児や幼稚園児とリサイクル品等を活用した手作りおもちゃの製作や遊びで異年齢交流を行う。	9~12月 受け入れ先の保育園・幼稚園
長嶺中SDGs会	「地域の人とSDGsに取り組もう!」地域の人たちと不用品リサイクル活動を行う。	8/5 ※活動は終了しました。 託麻南校区殿山公民館

団体名	事業名・活動内容	日時/場所
Laugh Connect	「皆で創って、遊んで、笑顔を繋げよう!」工作活動やアナログゲームをして子どもたちと触れ合い、寄り添い「心の居場所」を創る。	8~12月:毎月第三日曜 益城町営住宅第二団地
学生団体みくまり	「山間地の水田再生プロジェクト~食べる流域治水への挑戦~」稲の収穫作業と農地の持つ多面的機能を考えるワークショップ。	11月 水上村湯山地区
熊本大学手話サークル手笑顔(しゅまいる)	「手話を使って絵本を楽しもう!」:子どもたちに手話で行う絵本の読み聞かせと手話劇を楽しんでもらうイベントを行う。	10・12月 熊本市中央公民館
熊本工業高等学校工業化学科「SDGs課題研究班」	「閉鎖された水路の復活大作戦~虫の生息地を守ろう~」上江津地区、ぞうさんプール脇水路の外来植物等の除去を行う。	8月:(3回開催予定) 江津湖上江津地区
盲学校用教材開発サークル Soleil	「大気くん」音声式温度・湿度・気圧・高度計「大気くん」の製作と修理完了した「大気くん」の寄贈。さらに希望調査を行う。	9~12月 熊本大学内
体験ボランティア倶楽部	「益城町民の繋がりを取り戻そう!」子どもへの学習支援と地域住民へのカフェ活動、大学生企画の公民館講座。	8~12月 益城町内の集会所
くまもと中央高等学院ボランティアサークル	「熊本城周辺清掃ボランティア」各国からの観光客とのコミュニケーションをとりながら熊本城周辺清掃ボランティア活動を行う。	9~12月 熊本城桜町周辺
学生団体me-life	「中高生の居場所支援プロジェクト」益城町内の施設における夜間学習会me-labと生徒が企画するイベントのサポート。	8~12月 益城町にじいろ・Connet


※こども・学生ボランティア助成事業は令和6年度も実施します、興味のある方はあいぽーとまでお問合せ下さい。


## 令和5年度 熊本市市民公益活動支援基金 助成決定団体一覧


熊本市市民公益活動支援基金 令和5年度助成事業には12事業のご応募をいただき、10事業への助成が決定しました。


スタートアップ助成事業…5事業      ステップアップ助成事業…5事業

### スタートアップ助成事業


【団体名】『NPO法人ガット』	【助成事業名】 子どものための体験活動サポートと学校図書館相談事業
【事業概要】	事業1：野菜や果物を育てて収穫する体験、物づくり体験、読書活動、音楽活動、体づくり運動等の体験活動を通して、子どもたちの健全な育成をサポートする。 事業2：熊本市の小中学校の学校図書館の活性化のために、図書館のリニューアルや読書活動に関する支援を行い、そこで学ぶ子どもたちを支える図書館づくりをする。
【具体的事業】	《子どもの体験活動サポート》《子どもの読書活動を支える学校図書館相談》
【期待される効果】	事業1を通して、子ども達が自分の体を精いっぱい使って、物を生み出す方法を知り、工夫し、考えることによって、生きる力を身につけることができるだろう。事業2では、学校図書館が使いやすい魅力的なものとなり、子ども達が親しみをもって図書館を利用することで読書への関心も高まっていくと考える。また、図書館に関わる学校職員の意識向上により、子ども達への読書指導がより充実していくと思われる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 


【団体名】『暮らし応援協力隊』	【助成事業名】 暮らし応援協力隊
【事業概要】	地域の担い手不足や高齢世帯(独居含む)の地域での孤立など、社会情勢の変化に伴い、地域を取り巻く課題は多様化している。そこで、暮らし応援協力隊の活動(大型家具や家電商品等の移動・処分手続き・ゴミ出し、隣の塀や道路等へののみだし枝の剪定や庭の草取り等)をしながら、地域が抱える課題を少しでも減らすお手伝いを行う。
【具体的事業】	《屋内応援作業》《屋外応援作業》
【期待される効果】	暮らし応援協力隊として地域の高齢の独居者およびご夫婦へのお手伝いを行なうことにより、協働で街づくりを行う為の仲間が増え、その活動を通して、自分達の新たな協働への足がかりとする。
	【団体概要】 詳しくはこちら 


【団体名】『NPO法人坪井川遊水地の会』	【助成事業名】 坪井川遊水地美化および桜並木・防災講演
【事業概要】	坪井川遊水地は、熊本市の中心市街地を水害から守る目的で40年前に建設された。その後坪井川が大きな災害に見舞われないのはその効果のためでもある。その遊水地の利用を拡大し、今後もこの素晴らしい都市空間を持続するために、遊水地を除草美化し、周辺の4小学校児童に桜並木や防災の講演を実施する。
【具体的事業】	《防災・減災の住民啓蒙に関する勉強会》
【期待される効果】	市民の自主的な事業参加により軽微な公共事業への参加を促し、当事業を通じて地域とNPO団体の連携を図ることにより、その後の協働でまちづくりを行うためのネットワークづくりとなる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 


【団体名】『特定非営利活動法人くまもとライフポート』	【助成事業名】 障がい者就労継続支援(施設外)事業
【事業概要】	障がい者の就労支援の一環として個人住宅や公共施設等の場所まで障がい者を乗せていき、草刈り、芝刈り、除草、剪定等の作業を行う。
【具体的事業】	《障がい者就労継続支援(施設外)事業》
【期待される効果】	障がい者の身体的能力スキルアップを図るとともに、各種作業の安全性を確保し地方公共団体や個人の役務に寄与する。
	【団体概要】 詳しくはこちら 


【令和5年度の助成事業実施状況】 まだまだ参加できる事業も実施されます。興味のある方はドンドン参加して下さい。事前に主催団体・お問い合わせ先までご確認ください。		
日本ゆたかなまちづくり研究会 TEL:090-6155-9118(新田)	8/12(土)、8/19(土)、9/16(土) 11/11(土)、11/23(木) 14:00~15:30	ゆたかなまちづくりを目指す公開討論会の集い in 熊本市 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 くまもと県民交流館パレア会議室3 中央区手取本町8-9
むすんでひらいて音楽事務所 TEL:090-8329-6865(岡田)	二人でコンサート 第3回: 9/10(日) 第4回: 11/19(日)	「左手のピアノの世界」障がい者の音楽活動を推進し、理解を進める。 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 在日大韓基督教会(KCCJ)熊本教会 中央区本山 1-2-24
NPO法人熊本ゴルフ振興協会 TEL:096-221-1249	7/2(日)実施済み	西区及び城西校区でのスナッグゴルフ体験会 ※詳細は団体にお問合せ下さい。※助成事業は終了しました。 城西小学校 ※雨天のため体育館にて実施
緑化ボランティア団体「グリーンプラントえず」 TEL:080-6269-1234(坂口)	勉強会: 5/20(土) 10:00~ 美化作業: 6/10(土) 11:30~ 勉強会: 6/24(土) 9:00~	熊本市内の湖川を知って環境保全しよう会 ※詳細は団体にお問合せ下さい。※助成事業は終了しました。 株式会社ナピラボ 2階研修室 東区画図町重富865-3
『生きづらさカフェ』~ただの居場所~ TEL:080-5208-2398(原田)	当事者会: 毎月1~2回 居場所づくり: 月~土の13~22時 大人食堂: 毎週金曜の夜	「生きづらさ」を抱えて生きている人たちの「居場所づくり」「大人食堂」 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 熊本YMCA本館、中央公民館、大江コミュニティセンター
NPO法人 ディスカバリーくまもと TEL:090-8836-6452(坂本)	7/22~8/26の毎週土曜 9:30~11:30	熊本の誇る湧水庭園「水前寺成趣園」と細川文化の魅力を英語でガイドするための子ども講座 ※詳細は団体にお問合せ下さい。※助成事業は終了しました。 水前寺成趣園 中央区水前寺公園8-1 天理教熊本教務支庁 中央区水前寺公園2-30
NPO法人ガット TEL:096-223-5376(中川)	体験活動: 年12回 学校図書館相談 2校決定後~夏季休業日	子どもの体験活動サポート(野菜の苗植え・収穫、木工、音楽、運動等) 子どもの読書活動を支える学校図書館相談 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 ガット事業所、周辺地域 西区中島町1279番地6 本事業を受ける学校図書館(2校程度)
暮らし応援協力隊 TEL:090-9490-0296(馬原)	暮らしに伴う困りごとは何でもご相談ください。 ※打ち合わせを実施します。	地域が抱える課題を少しでも減らすお手伝いをします。 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 東区山ノ内校区及びその周辺
NPO法人坪井川遊水地の会 TEL:096-341-8222(加乗)	美化作業: 年24回 講演: 4小学校 打ち合わせの上実施	遊水地除草美化作業・遊水地桜並木や防災に関する講演 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 中央区(壺川・黒髪)及び北区(高平台・清水)の坪井川遊水地
特定非営利活動法人くまもとライフポート TEL:096-297-7151(馬場)	5月~9月: 10:00~15:30 毎月5~10回程度実施	障がい者の就労支援として草刈り、芝刈り、除草、剪定等の作業を行う。 ※詳細は団体にお問合せ下さい。 個人住宅、東町団地、嘉島町宮之原公園他

【団体名】『日本ゆたかなまちづくり研究会』	【助成事業名】 ゆたかなまちづくりを目指す公開討論会の集い in 熊本市
【事業概要】	熊本市内で「ゆたかなまちづくり」を目指して活動をしている団体を「環境の保全」、「子どもの健全育成」等、5つのジャンルから各1団体ほどセレクトし、5団体を招いて令和5年5月から隔月で5回の公開討論会を開催する。5回の討論会が終了後に成果を30部ほど冊子として発行し、あいぼーと等、熊本市民の目に触れる施設に寄付する。あわせて申請団体のホームページでも公開する。
【具体的事業】	《公開討論会の開催》《成果の冊子発行と公開》
【期待される効果】	熊本市民にとっては、アフター・コロナを見据えて、「ゆたかさ」とは何かを考え直す機会になる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 


【団体名】『むすんでひらいて音楽事務所』	【助成事業名】 左手のピアノの世界
【事業概要】	障がい者の社会活動の推進を図るべく、障がいのあるピアニストに対してのコンサートの企画、サポートを行い、障がい者の音楽活動を推進し、障がい者理解を進める。そして、子どもたちの芸術文化体験を進めることにより、健全育成をはかり、社会の芸術文化振興を進める。また障がいや社会問題と音楽を考えるコンサートの実施により音楽が社会に果たす役割について考える。
【具体的事業】	《第3回二人でコンサート》《第4回二人でコンサート》
【期待される効果】	障がい者(特に左手でのピアノ演奏者)への理解促進、片手でのピアノ演奏分野の芸術的価値の振興、障がい者の共存と活躍につながる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 

【団体名】『NPO法人熊本ゴルフ振興協会』	【助成事業名】 西区及び城西地区でのスナッグゴルフ体験会
【事業概要】	小さなお子様から高齢者まで楽しめるスナッグゴルフの体験会を開催。ゴルフは元々世代間を超えたスポーツの一つでもあり、ゴルフ未経験者でもルールに則り気軽に楽しんで体験してもらうことができる。世代を超えて、地域の方々とも触れ合いながら楽しんでもらい、まちづくりに広く寄与できる機会となることを目指す。
【具体的事業】	《スナッグゴルフ体験会開催》
【期待される効果】	当事業を通して、地域とNPOの連携を図ることで、NPOの運営理念である青少年の健全育成と年代を超えた繋がりを作るためのネットワーク作りとなり、地域だけでなく市民の皆様へ寄与する取り組みとなる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 

【団体名】『緑化ボランティア団体「グリーンプラントえず」』	【助成事業名】 熊本市内の湖川を知って環境保全しよう会
【事業概要】	1. 海事代理士による勉強会で、熊本市内を流れる湖川環境の変化に伴う生態系の変化について学ぶ。 2. 1の後に市内を流れる湖川周辺のごみ拾いや除草作業等の美化作業をすることにより、環境保全に貢献する。 3. 環境保全活動を通じて、学んだことや感じたことを振り返る。
【具体的事業】	《勉強会》《勉強会後の美化作業》《美化作業後の勉強会(成果確認)》
【期待される効果】	熊本市内を流れる湖川の環境変化に伴う生態系の変化を学ぶとともに、環境保全活動を実施することにより、熊本市民が将来の熊本市の環境を考えるきっかけになる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 

【団体名】『『生きづらさカフェ』~ただの居場所~』	【助成事業名】 『生きづらさカフェ』~ただの居場所~
【事業概要】	月1~2回の「生きづらさ」をテーマとした当事者会を開催する。また大江コミュニティセンターを拠点とした様々な理由で望まない社会的孤立状況にある人達の日中の居場所づくりを行う。土曜日の夜は地域の皆で、一緒にご飯を食べて過ごす「週末の夜の大人食堂」の事業を通じて、孤立させない地域の繋がりを作る。
【具体的事業】	《「生きづらさ」をテーマとした当事者会を開催》 《「社会的孤立」を防ぎ、地域に繋がりをつくる週末の夜の大人食堂》
【期待される効果】	コロナ禍によって人と人との繋がりは益々希薄化し、望まない社会的孤立状態にある人、また「生きづらさ」を抱えたまま日々を過ごしている人、当事者の方が増えた。そんな人たちの社会的孤立を防ぎ、「生きづらさ」を抱えて生きている人々には当事者会という自分の「生きづらさ」を語れる居場所を作ることによって、絶望し自殺のほうに行くのではなく、少しでもリカバリーを目指すきっかけになればと思っている。
	【団体概要】 詳しくはこちら 

### ステップアップ助成事業

【団体名】『NPO法人ディスカバリーくまもと』	【助成事業名】 熊本の誇る湧水庭園「水前寺成趣園」と細川文化の魅力を英語でガイドするための子ども講座
【事業概要】	次世代観光人材育成として、熊本の誇る湧水庭園「水前寺成趣園」と細川文化の魅力について、小・中学生及び保護者を対象に「子ども英語でボランティアガイド養成講座」を6回実施する。特に、保護者も参加することにより、水前寺成趣園出水神社や水前寺活性化プロジェクトチーム、各団体との連携を深める中から、水前寺成趣園と細川文化の魅力を再発見し、自主的に発信できるようにサポートする。
【具体的事業】	《熊本の誇る湧水庭園「水前寺成趣園」と細川文化の魅力を英語でガイドするための子ども講座》
【期待される効果】	当事業を通して、築地350年を経過した湧水庭園「水前寺成趣園」と細川文化の魅力を再確認し、英語で発信することにより、地域との連携を深め、熊本市の観光復興に貢献できるだけでなく、細川文化の継承活動へとつなぐことができる。
	【団体概要】 詳しくはこちら 

### No.111 子育てネットワーク 縁側 moyai



平成25年(2013年)1月設立

(目的)縁側moyaiは、「ひとりで頑張りすぎず、みんなで子育て♪」を合言葉に、2013年から活動している熊本の子育てネットワーク。活動を通じて育んでいるのは「支え合いながら一緒に子育てしていく仲間」「いつでも相談できる拠り所」。子育て世帯の孤立を防ぎたいという想いで、様々な活動を行っています。

- ・令和3年度助成事業：子どもに伝えたい熊本の農業と食プロジェクト
- ・令和4年度助成事業：ひとりで抱え込まず、みんなでいっしょに子育て



「きてきて」の様子

# 熊本市市民公益活動支援基金 その後の話

熊本市市民公益活動支援基金の助成を受けた団体が、その後のような成長・発展を遂げたのかを追跡するこのコーナー。今回取材したのは、登録No.80「NPO法人でんでん虫の会」と登録No.111「子育てネットワーク 縁側 moyai」です。この2団体は助成を受けることによってどのように成長し、今後どのような展開をみせるのでしょうか。



### No.80 NPO法人でんでん虫の会



事務局長 永田 貴子さん

※でんでん虫の会の名前の由来:  
この会が「なんでん・かんでん・いつでん・どこでん、たれでん・かれてん」と横目なく目を傾けるといふ活動を心掛けていることから。



おしゃべり会の様子

平成23年(2011年)3月設立

(目的)ひとり暮らしをされている社会的弱者と言われる元野宿者、高齢者、障がい者、DV被害者などへの安否確認や相談活動を通じて孤立を防ぎ、社会参加や相互交流の機会を作りながら、人と人とのつながりや絆を深め、安心して暮らすことのできる地域づくりに寄与する。

- ・平成27年度助成事業：ひとり暮らしの「居場所づくり」事業
- ・平成28年度助成事業：ひとり暮らしの「居場所づくり」事業
- ・令和元年度助成事業：イベント出店活動・料理教室、実習体験交流会による居場所づくり

子育てネットワーク縁側 moyai は、ステップアップ助成を令和3年・4年度に連続で受けられています。代表のオノユリさんと運営メンバーである久保智絵美さん、坂梨康代さんにお話を聞きました。

NPO法人でんでん虫の会は、平成27・28年度に分野別助成、令和元年度はステップアップ助成を受けられています。事務局長の永田 貴子さんにお話を聞きました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

「食と農業プロジェクト」に助成していただいたおかげで、縁側 moyai が大事にしたいと考えている「農業」「食」の活動を安心して行うことができた。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金との出会いは？

数年前から知ってはいたのですが、大変なイメージがありハードルの高さを感じて、私たちの団体にはまだ無理かなと思って断念していました。その後、知人が運営している育児支援団体が助成を受けているのを知り、自分たちもチャレンジしてみようと思ったのがきっかけです。

**Q** 活動の内容を教えてください。

サークル活動、親子イベント、ワークショップ、季節ごとの食の催し、お下がり服譲渡会、口コミ情報交換、フードパントリー(フードバンク)の品などを子育て世代に届ける活動など子育て世代が喜ぶ様々な活動を行っています。また昨年からは、毎月5・15・25日に「きてきて」という地域食堂のようなママたちの居場所づくりをしています。ママたちがお互いに助け合い、情報を共有することで余裕が生まれると、自分たちの笑顔が子どもたちの笑顔になって返ってきます。また、参加していくことで、「支え合いの循環」の中に自分もいるのだから、困った時は一人で抱え込まずに人に頼っていいんだと、ママパパ達が見えるようになることを願って活動しています。

**Q** 設立のキッカケは？

(オノさん)私自身が縁もゆかりもない熊本で子育てをする事になったとき、悩みや不安を他のママさんと共有するだけで気持ちが軽くなって、育児が楽しめるようになったのを感じて、支え合いながら子育てをしていく場を作れたら、との想いで始めました。

**Q** 活動の内容を教えてください。

少し形が変わってきたというが、熊本地震後、特に当事者の方よりも、病院とか施設とか地域包括とか、支援をする専門機関からの身元引受の依頼というものが急増しました。たぶん一人で暮らして来た人が地震をきっかけに体調不良などが露呈したのでしょね。本来、わたしたちの活動は、人間関係を作り上げて気心知れての身元引受なのですが、とにかくそうもいってられない。新型コロナが流行して、面会さえできずに引き受けて、次にお会いした時は葬儀の手配をするようなこともありましてね。これではいけない、地域で住んでいる間に見守りができる、繋がりが

**Q** 活動の内容を教えてください。

ききました。大事な田畑を活動の場所として貸して下さる協力農家さんなどに謝礼が払えたのも大変ありがたかったです。サークル活動やイベントでは、「是非聞きたい」とニーズがあつたり、「子育て世代に広く知ってほしい」と思う内容によっては、高額な講師料がかかる場合も多いので、助成していただくことで、子育て世代の参加の負担が軽減でき、とても喜ばれました。また、報告会などを通じて、他の団体との繋がりが生まれたのも良かったです。それがそれぞれ活動内容は異なりますが、「社会を良くしたい」という基本的な想いが一緒なので、刺激をうけたり大変勉強になりました。また、交流会などで団体の悩みを出しあうと、どこも一緒なんだなと思つて、そんな日々の活動の励みにもなりました。

**Q** 最近の活動と今後の活動予定は？

あいまーとお世話になってるので、お声掛けいただいた紹介してもらいました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

基金の場合は市民の方の寄附から助成を頂いているということと、報告会などで自分たちの活動を市民の方に説明したり発表する場を頂き、とてもいい経験になりました。会員の皆さんにとっても自分たちの活動が一人暮らしの人たちに有効であることを知る機会になったのはうれしいことでした。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

民間は自力で何とか運営しながら連携団体として形を作つて、それをモデルに市や県を含めて制度化に向けてやっています。手弁当ではやっていけないんです。次の人が育たない。人材を育てるために形ができればと思っています。

**Q** 専門的な支援というのは専門の人達がいる、繋ぎ先もあると思うんですが、でんでん虫の会は、「おしゃべり会」を中心に、その中で家族的な関わりを継続できた理想なのかと思います。

**Q** 最近の活動と今後の活動予定は？

あいまーとお世話になってるので、お声掛けいただいた紹介してもらいました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

民間は自力で何とか運営しながら連携団体として形を作つて、それをモデルに市や県を含めて制度化に向けてやっています。手弁当ではやっていけないんです。次の人が育たない。人材を育てるために形ができればと思っています。

**Q** 専門的な支援というのは専門の人達がいる、繋ぎ先もあると思うんですが、でんでん虫の会は、「おしゃべり会」を中心に、その中で家族的な関わりを継続できた理想なのかと思います。

**Q** 活動の魅力は？

(久保さん)子どもがいる限り悩みはつきないと思うのですが、そのような悩みを共有できる「縁側 moyai」

**Q** 最近の活動と今後の活動予定は？

あいまーとお世話になってるので、お声掛けいただいた紹介してもらいました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

民間は自力で何とか運営しながら連携団体として形を作つて、それをモデルに市や県を含めて制度化に向けてやっています。手弁当ではやっていけないんです。次の人が育たない。人材を育てるために形ができればと思っています。

**Q** 専門的な支援というのは専門の人達がいる、繋ぎ先もあると思うんですが、でんでん虫の会は、「おしゃべり会」を中心に、その中で家族的な関わりを継続できた理想なのかと思います。

**Q** 最近の活動と今後の活動予定は？

あいまーとお世話になってるので、お声掛けいただいた紹介してもらいました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

民間は自力で何とか運営しながら連携団体として形を作つて、それをモデルに市や県を含めて制度化に向けてやっています。手弁当ではやっていけないんです。次の人が育たない。人材を育てるために形ができればと思っています。

**Q** 専門的な支援というのは専門の人達がいる、繋ぎ先もあると思うんですが、でんでん虫の会は、「おしゃべり会」を中心に、その中で家族的な関わりを継続できた理想なのかと思います。

**Q** 最近の活動と今後の活動予定は？

あいまーとお世話になってるので、お声掛けいただいた紹介してもらいました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

民間は自力で何とか運営しながら連携団体として形を作つて、それをモデルに市や県を含めて制度化に向けてやっています。手弁当ではやっていけないんです。次の人が育たない。人材を育てるために形ができればと思っています。

**Q** 専門的な支援というのは専門の人達がいる、繋ぎ先もあると思うんですが、でんでん虫の会は、「おしゃべり会」を中心に、その中で家族的な関わりを継続できた理想なのかと思います。

**Q** 最近の活動と今後の活動予定は？

あいまーとお世話になってるので、お声掛けいただいた紹介してもらいました。

**Q** 熊本市市民公益活動支援基金を受けられたことについて影響がありましたか？

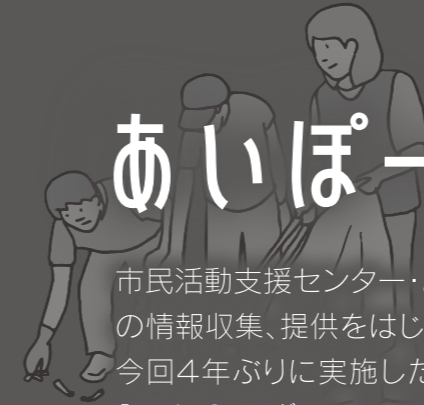
民間は自力で何とか運営しながら連携団体として形を作つて、それをモデルに市や県を含めて制度化に向けてやっています。手弁当ではやっていけないんです。次の人が育たない。人材を育てるために形ができればと思っています。

**Q** 専門的な支援というのは専門の人達がいる、繋ぎ先もあると思うんですが、でんでん虫の会は、「おしゃべり会」を中心に、その中で家族的な関わりを継続できた理想なのかと思います。

※「ゆいまーる」って？

縁側 moyai は、ママパパ達のボランティアにて運営を行っています。その活動に関わってくれるボランティアのことを、「ゆいまーる」と呼んでいます。「ゆい=結びつき」「まーる=循環」という語源で、繋がって循環していく、という意味が私達の思いとまさにピッタリだったので、この名称にしました。

# あいぽーとボランティアレポート



市民活動支援センター・あいぽーとでは、ボランティアに関するお手伝いをしています。ボランティア募集の情報収集、提供をはじめボランティアについて正しく理解していくための学びの場を実施しています。今回4年ぶりに実施した「火の国まつり総おどり後の街なか清掃」、初めてのボランティアを応援する「Let's Startボランティア」、「Let's goボランティア」をレポートします。

## Let's Start ボランティア

「傾聴」を学ぼう

入門編

7/29(土) 7/30(日)

実践編

8/13(日) 8/14(月)

ボランティア活動に関心のある中・高校生を対象にボランティア活動のはじめの一步を踏み出すきっかけをつくる「Let's Startボランティア」今回は「傾聴」について正しく理解し、ボランティア活動にチャレンジしてもらいました。今回、入門編、実践編をNPO法人傾聴ネットキーステーションさんに協力いただき実施しました。

(入門編) 7/29(土)、7/30(日) 25名参加  
入門編は「傾聴」の基本姿勢についてお話いただきました。



(実践編)  
8/13(日) 8/14(月) 22名参加  
入門編で学んだことに  
チャレンジしました。



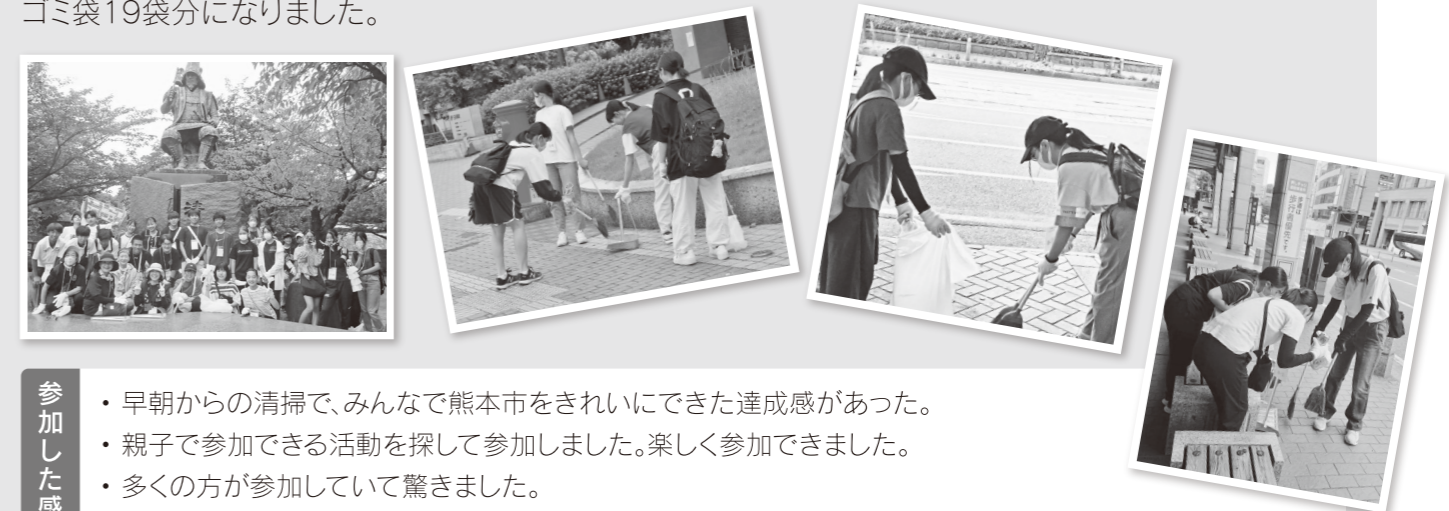
参加した感想

- 私は、人とコミュニケーションをとることが苦手です。自分から話せないし、聞くことも上手ではないです。しかし、人の話を聴くことで人の助けになることを知りました。あいづちをしたり、うなずいたりしながら人の話を聴かせていただこうと思いました。
- 大切な人の話を聴こうとすると、何か助けられたらと思って話したくなるのですが、相手はそれを求めているのが分かりました。実践してみても私には聴くというがまん強さがないなと実感しました。また、感情移入する際も、私のやってきたことは、相手の求めるものとは逆のことをしていて、申し訳ない気持ちでいっぱいです。今回、「傾聴」について正しく理解する機会を得られて良かったと思いました。

## 火の国まつり総おどり後の街なか清掃

8/6(日)

8/5(土)「火の国まつり・おてもやん総踊り」が4年ぶりに実施。会場となった熊本市中心市街地で、翌日の早朝に「街なか清掃」を実施しました。早朝とはいえ例年にない暑さの中、325名(個人201名、団体17団体 108名、運営ボランティア16名)の方々に参加いただきました。集まったゴミは45Lサイズのゴミ袋19袋分になりました。



参加した感想

- 早朝からの清掃で、みんなで熊本市をきれいにできた達成感があった。
- 親子で参加できる活動を探して参加しました。楽しく参加できました。
- 多くの方が参加していて驚きました。
- 自分たちの清掃で熊本市がきれいになり観光客のおもてなしの協力ができた。

## Let's go ボランティア

7/26(水) 研修編

8/16(水) 実践編

あいぽーとのスタッフと一緒に同行しボランティア活動に参加する仕組み。山ノ内校区に住んでいる親子を対象に開催する「やまのうちこふれあい交流会」に運営ボランティアとして35名の高校生が参加しました。7月三浦祐子さんの子育て講話を聴き、妊婦体験や抱っこ体験を行い、8月の交流会に参加しました。

7/26(水) 研修編 14名  
子育て講話や遊ぶうた、妊婦、あかちゃん抱っこを体験

8/16(水) 実践編 21名  
山ノ内校区ふれあい子育てネットワーク交流会



参加した感想

- 普段触れ合う機会のない小さな子どもや保護者の方と話ができて、とても勉強になりました。
- 赤ちゃんは一人で育てるわけではなく、周りのサポートを受けてもいいことに気づきました。
- 妊婦体験をして、歩きにくさ、寝づらさ、靴下を履くことの大変さも体験できました。妊婦さんに優しく寄り添いたいと思いました。
- 今回のような内容をボランティアを通して経験できることはとてもいい機会になりました。また開催してほしいです。





# アクティブNPO

今回紹介するアクティブなNPOは、スポーツを通して知的障がいのある人の社会参加と自立を目指す活動を行っている「認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・熊本」です。米国発祥の活動が、初めての国内組織として1993年に熊本に発足して今年で30年。これまでの歩みと成果、これからの展望などを、常務理事の竹屋純子さん、専務理事の原幸代子さんにお話を聞いてみました。



チャリティーやキャンプ、お茶会などのイベントも活発に行っています。

## SO活動に携わる原動力となるモチベーション

SOに携わっていると、いろんなアスリートに出逢います。みんながとても純粋で、一生懸命で、責任感も強いんです。中には社会に出て仕事をしている人もいるんですが、与えられた仕事をきちんと終わらせた上でSOに参加します。また、無心というか邪気がないというか、とにかく時間に合わせて動くわけではないので、一緒にいると、「あー急いじゃダメだな」って、逆にやさしさやゆとりを教えられます。ずっと一緒にやってきたアスリートから、3年経ってやっと初めて笑顔で名前を呼ばれたときは、感動しちゃいましたね。初めてやるスポーツでも、8回のプログラムを経て試合をしたりするのですが、アスリートたちにとっては、試合ができるということが大きな喜びとなるんです。プレーをしながらそれが自信となつてスポーツ以外の他のことに

も挑戦するようになる、そんなアスリートたちの成長や変化を目の当たりにできることが、我々やコーチをはじめとした多くのボランティアの方々にとつての喜びであり、SOに関わっていく大きなモチベーションのひとつになっていると思います。

## 共生できる社会の実現に向けて

私たちが目指していることは、アスリートがスポーツを楽しむことだけでなくありません。もちろん大会でメダルを取ることでもありません。知的障がいのある人たちが、スポーツを通じて社会とつながる、人とながる。その経験を多く積むことで自立していけること、そしてそれを受け入れる社会を作っていくことです。最近では、アスリートたちが自発的にボランティアを行ったり、自分たちを知ってもらうためのビデオクラブを作ったりするなどの成果も見えるようになりました。私たちの活動は、広報紙ひとつ作るにしても、競技会やイベントを開催するにしても、ファミリーと呼ん

みんなが輝き  
だれひとり取り残さない  
共生社会を目指して

30年前、日本のスペシャルオリンピックス活動は、熊本から始まった

スポーツを楽しむ機会が少ない知的障がいのある人たちに、スポーツを通じて社会参加を応援してこうと、1968年にスペシャルオリンピックスがアメリカで設立されました。日本でも国際本部から認可された組織が、全国大会の開催や、国際大会へのアスリートの派遣などを行ってきましたが、1992年にその組織は解散しました。

一方で、1991年開催の第8回世界大会に参加した熊本県のアスリートとボランティアコーチの活躍が、多くの反響を呼んだことを機に、熊本の有志によって地区組織としての「スペシャルオリンピックス・熊本」が1993年に設立され

ました。

翌年には、国内本部組織としての「スペシャルオリンピックス日本」が熊本市で発足。現在では本部事務所は東京都に移っていますが、日本におけるスペシャルオリンピックス活動は熊本で始まったのです。

現在、スペシャルオリンピックス日本・熊本（SON・熊本）が取り組んでいる競技は20種目。SOでは活動に参加する知的障がいのある人々を「アスリート」と呼び、県内各地に10の活動拠点を展開し、年間を通して多くのアスリートやボランティアと一緒にスポーツを楽しんでいます。毎年地区大会や競技会を開催するほか、4年に一度夏季・冬季に行われるナショナルゲーム（全国大会）、ワールドゲーム（世界大会）にも選手団や応援団を派遣しています。また、スポーツだけでなく、

でいるアスリートの家族や、コーチをはじめとしたボランティアの方々の力を借りて行っています。そんな支えがあつて運営ができていくことを、私たちはもつと外に発信していく責務があると感じています。残念なことには、一般社会におけるSOの認知度は6%程度しかありません。もつと多くの方々にSOが目指すもの、SOの活動を知っていただき、多様性を認め合う、共生できる社会の実現に向かっていきたいと思っています。



## 取材後記

30年前、全国組織を熊本で設立したそのエネルギーは計り知れないものがあったと思います。注いでいる、そんな熱意をお二人の話から感じた取材でした。まだまだ障がいを理由とした差別や偏見というのは大きく存在していると感じます。共生社会の実現は人とのつながりを持ったことから始まり、実現に向けて是非みなで考えていきたいものです。

### スペシャルオリンピックス(SO)とは

知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織。本部はアメリカ、ワシントンD.C.にあり、170カ国以上で、約370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが活動に参加している。日本国内の本部組織が「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」で、国内におけるSO活動の普及と促進を行っている。また全国47都道府県に「地区組織」があり、それぞれが独立した組織・団体としてSO活動の実践と推進活動を行っており、運営は「ボランティアと善意の寄付」によって行われている。

### 認定特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・熊本

TEL:096-288-2781 FAX:096-288-2782  
E-mail:kumamoto@son.or.jp  
HP:http://www.son-kumamoto.jp/



Facebook



ホームページ

作品番号3

とつけむにや 忘れる間もなく やってくる  
(中央区 吉松裕蔵)

作品番号2

共助だね 防災だって 郷土愛  
(南区 奥村幸博)

作品番号1

楽しいな 花火のあとは あとしまつ  
(中央区 フィッシャーマン)

あいぽーと賞

防災の 基本の一步は 備えから  
(中央区 裕子ちゃん)

# あいづ川柳「防災」



作品番号9

毎日の 指さし点検 欠かせない  
(東区 ウメコ)

作品番号8

今一度 避難経路を 再確認  
(北区 おじいちゃん)

作品番号7

これ知ってる? ハザードマップ 母に問う  
(北区 ふあむ)

作品番号6

きをつけよう ひびの生活習慣 きつちりと  
(西区 荒木玲子)

作品番号5

防災で レトルト連食 ややきつか  
(中央区 本田老人)

作品番号4

天災も Aー任せと すまし顔  
(中央区 今村尤二)



## Editors Note 編集ノート

スタッフのつぶやき あいぽーとスタッフに「防災」について聞いてみました

災害は、いつ、どこで起こるか分からないものです。事前の準備や避難する場合の心構えを常日頃確認したいと思います。しかし、熊本地震や九州豪雨災害など、もう二度と経験したくありません!(センター長 清田光治)



ハザードマップによると我家は水害時に車で避難できず、土砂災害では特別警戒区域という最悪な所。でも大丈夫。「自衛隊防災BOOK」目からウロコの100のライフハックが役に立ちます。読んだだけで安心してはダメですよ!(竹田逸夫)



「日頃の注意喚起が身を守る!」を熊本地震より特に意識しています。情報の察知と早めの対策・避難、自ら火災等も起こさないことや盗難防止のために声を出しての指先確認を行っています。(土井和子)



7年前の熊本地震を忘れることはできません。真夜中に停電し、たまたま近くにあったキャンプ用のランタンが役に立ちました。家では非常用グッズとまではいきませんが、最低限に必要なと思われる品物は揃えておくようしています。(浦田憲治)



限られた人だけの知識に頼るのでなく、日頃から防災についてみんなで関心を持って、話し合い、学びを深めていくことが大事かなと思います。もっと防災について楽しく学べる機会があってもいいなと考える今日この頃です。(吉村俊久)



2016年の熊本地震の時に感じたのは、防災に対する「備え」の大切さです。日頃から地震や台風の自然災害等に対して、家族や地域の方々話し合いを行い、非常時の備えを万全にして災害に対応できるように心がけています。大事だと思います。かけがえのない!大切な命を守るために!(福岡伸也)



台風は地震と違い、直前に来るのが予想できる災害です。一人ひとりの防災意識が高まれば、最小限の被害で済むことができます。防災対策の準備と正しい情報を得るよう心がけています。(黒木亮太)



日頃から防災に関心を持つことで意識を高めています。防災に関して情報収集しアップデートも必要!ラジオ、テレビ、アプリなど、どのような状態でも情報を収集できるように心がけています。(白石直子)



2016年熊本地震時、FM791の本社にいた私は、それから2週間24時間生放送の対応をしました。それから、その時の経験を伝えるため、各地へ話に行っています。自分達が経験したことを忘れずに伝えていくことが大事です。(長生修)



### 2024年3月までの あいぽーと事業スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
センター	ボランティア・場の提供相談 随時相談受付							
	あいぽーとボランティアDAY 毎月5・15・25日開催							
	ボランティア講習会	◆防災セミナー 9/10(日) 10:00~ ◆ボランティアのスズメ 9/24(日) 10:00~ 「文字で伝える」		◆あいぽーとFestival 11/19(日) 10:00~15:00 ◆ボランティアのスズメ 11/26(日) 13:30~ 「認知症」	◆あいぽーと大掃除 12/27(水) 10:00~	◆普通救命講習会 1/18(木) 13:30~ ◆ボランティアのスズメ 1/29(月) 10:00~ 「多文化共生」		◆ボランティアのスズメ 3/24(日) 10:00~ 「依存症」
	Let's goボランティア	隔月実施						
	あいぽーと折々ボランティア	9/29(金)9:30~	10/31(火)9:30~	11/30(木)9:30~	12/26(火)9:30~	1/31(水)9:30~	2/29(木)9:30~	3/28(木)9:30~
	あいぽーと通信の発行	毎月1日発行						
ホームページ情報発信	随時更新							
情報誌eyesの発行							No.24発行	
NPO法人	随時相談受付 ※事前に予約をお願いします。							
	NPO法人設立個別相談会 毎月第2.4金曜日実施	9/8(金) 9/22(金)	10/13(金) 10/27(金)	11/10(金) 11/24(金)	12/8(金) 12/22(金)	1/12(金) 1/26(金)	2/9(金) 2/23(金・祝)	3/8(金) 3/22(金)
	NPO法人設立説明会			(基礎編) 11/16(木) 10:00~ (書類作成編) 11/24(金) 13:30~		(基礎編) 1/12(金) 10:00~	(書類作成編) 2/13(火) 13:30~	(基礎編) 3/2(土) 10:00~
	NPO労務専門相談	9/20(水)	10/18(水)	11/15(水)	12/20(水)	1/17(水)	2/21(水)	3/20(水・祝)
	NPO会計・税務専門相談	9/19(火)	10/17(火)	11/21(火)	12/19(火)	1/16(火)	2/20(火)	3/19(火)
	NPO資金づくり&運営専門相談	9/26(火)	10/24(火)	11/28(火)	12/26(火)	1/23(火)	2/27(火)	3/26(火)
	NPO法人セミナー関係		◆役員研修会 10/12(木) 10/13(金)			◆はじめの一步 1/15(月) 13:30~	◆事業報告書 書き方セミナー 2/5(月) 13:30~	◆提出書類の 書き方セミナー 3/11(月) 13:30~
NPO情報誌「ばってん」発行		Vol.8発行					Vol.9発行	
公益活動支援基金	基金運営	令和4年度助成 事業報告会	令和6年度助成 事業説明会 10/20(金) 10/26(木)	令和6年度助成 事業受付スタート	縁-up!くまもと 2023 12/7(木)		令和6年度助成 事業申請団体公開 プレゼンテーション	
	基金に関する相談	随時相談受付						

※内容が変更になる場合もございます。  
※詳細については、あいぽーと通信又はホームページに掲載します。